

# 平成24年度学習到達度確認テスト活用状況（12月）まとめ①

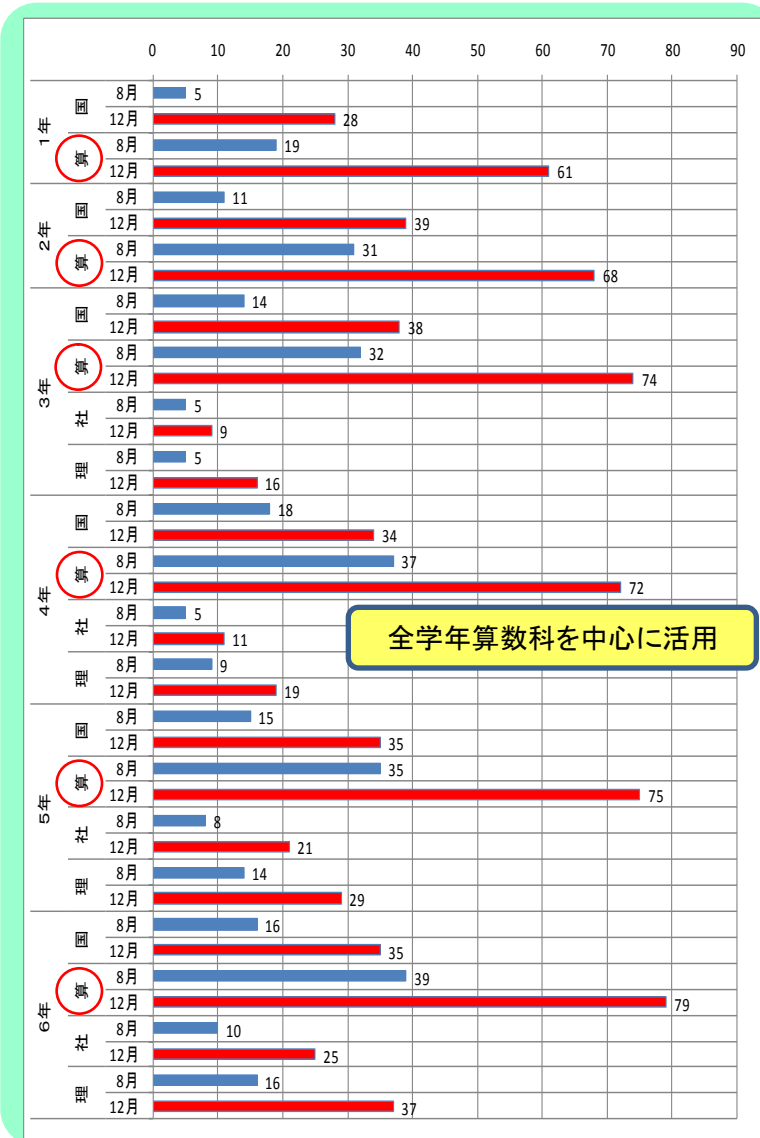
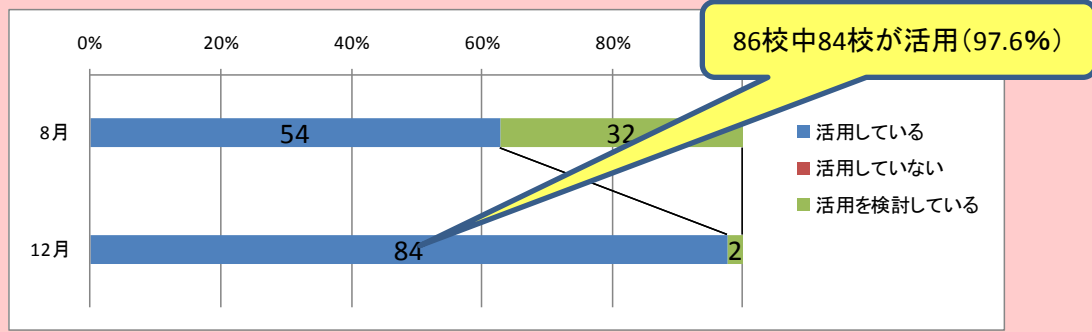
津山教育事務所管内の活用状況調査(12月)の結果をグラフにて示しています。また、8月の活用状況調査とも比較をしています。

## <小学校編（86校）>

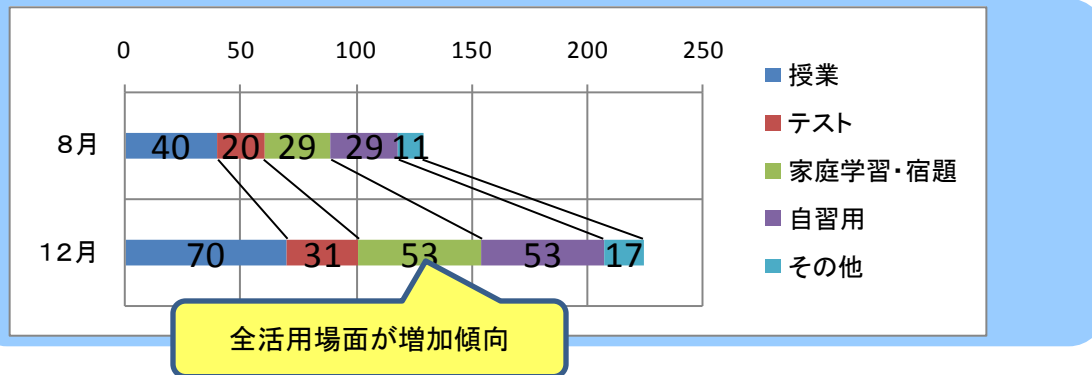
H25. 2 津山教育事務所教職員課 No.39-①

Q1 学習到達度確認テストを活用していますか。(数字は学校数)

Q3 どの教科を活用していますか。  
(数字は86校中の活用している学校数)



Q2 学習到達度確認テストの活用はどんな場面ですか。(複数回答可、数字は活用数の合計)



## <小学校の活用状況の傾向>

- 時間確保が厳しい中ではあるが、授業での活用が増加してきている。
- 家庭学習や宿題としても活用している。
- 特別支援学級(自閉・情緒)で定期的に活用している。
- 朝学習として活用している学校も増えてきている。
- 低学年での活用は厳しい状況がある(文字の大きさ・フォント・配置・解答欄が小さい等)。



# 平成24年度学習到達度確認テスト活用状況（12月）まとめ②

津山教育事務所管内の活用状況調査(12月)の結果をグラフにて示しています。また、8月の活用状況調査とも比較をしています。

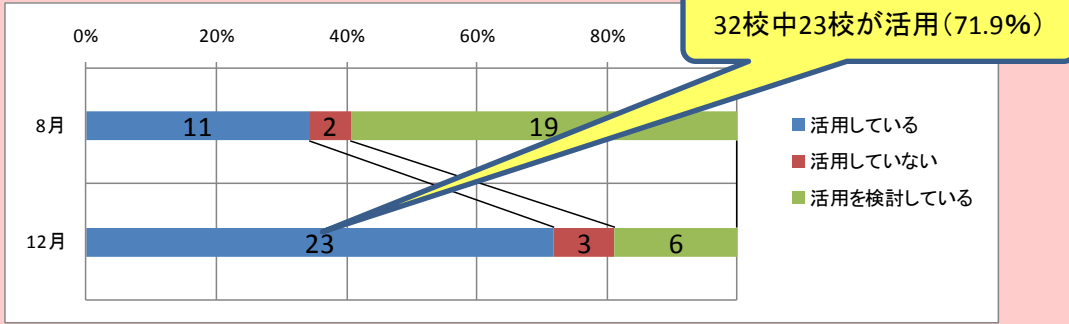
## H25. 2 津山教育事務所教職員課 No.39-②

### Q3 どの教科を活用していますか。

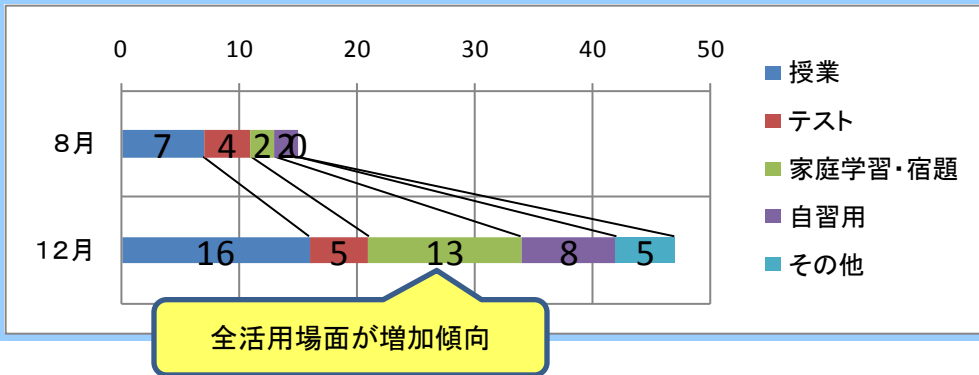
(数字は32校中の活用している学校数)

## <中学校編 (32校)>

### Q1 学習到達度確認テストを活用していますか。(数字は学校数)



### Q2 学習到達度確認テストの活用はどんな場面ですか。(複数回答可、数字は活用数の合計)

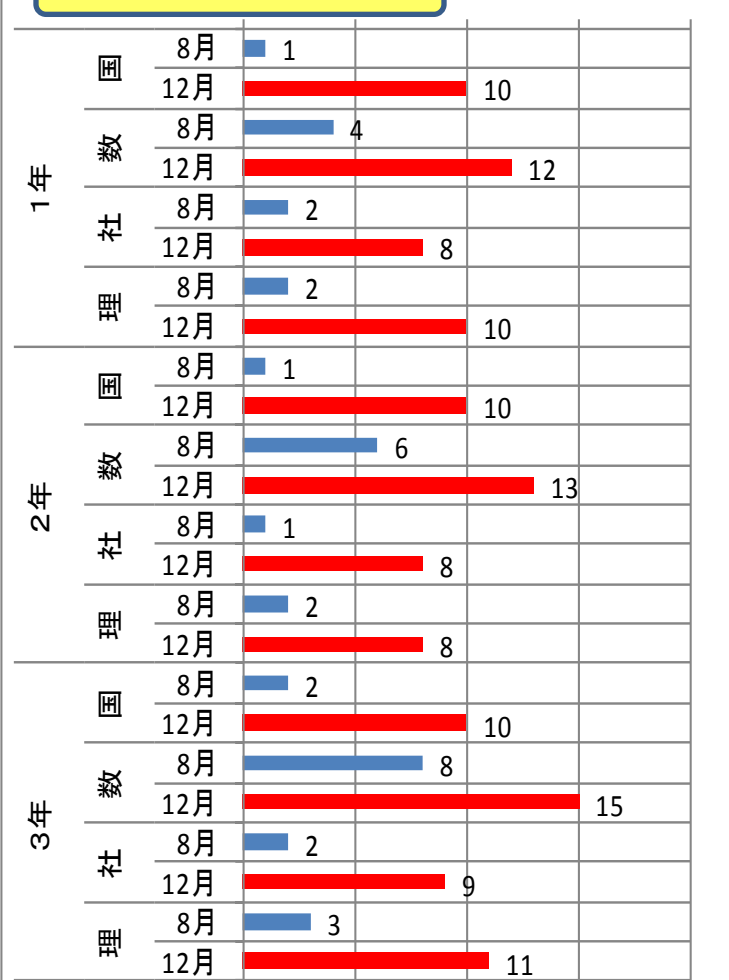


## <中学校の活用状況の傾向>

- 帰りの会や放課後での活用を実施している。
- 定期テストの準備問題として活用している。
- 3年生の基礎学力アップタイム(放課後学習)の自習教材として活用している。
- 単元によっては問題のレベルが高いものがあり、解答にかなり時間がかかる場合もある。



### 全教科で活用する傾向にある



# 学習到達度確認テストの活用を通して

H25. 2 津山教育事務所教職員課 No.39-③

## 全校で活用を工夫した取組が児童生徒へ反映してくる!

### —成果—

- 下学年の問題を活用し既習事項の定着に効果が見られる。
- 教師が授業改善をすることにつながっている。
- 思考力・表現力などが育成されつつある。

- ・自分の言葉で書こうとする児童が増えてきている。【小】
- ・全校で毎月強化週間を設定して取り組み、無解答が減って粘り強く取り組む児童が増えた。【小】
- ・定着度の確認・レディネステスト・復習としてなど活用し、学習の定着や授業づくりに役立った。【小】
- ・算数科を中心に下の学年の問題を解くことで、どこでつまづいてるか把握できる。【小】
- ・説明を要する問題に慣れることができる。【小】
- ・難しい問題に挑戦したり、友達同士で教え合ったりすることで学習意欲が向上する。【小】
- ・中学3年生では、読解力テストは入試問題への練習で有効と考え活用した。【中】

### 更に活用するために…

- ◎学級・学年・学校の学習課題を明確化し活用する。
- ◎活用の仕方や効果を校内研修で実践交流する。
- ◎きちんと解答できるまで繰り返し活用する。
- ◎学習到達度確認テストを学校と家庭で反復学習ができるようなシステムを検討する。

### —課題—

- ▲全職員で学習到達度確認テストの良さが交流できていない。
- ▲学級・教科担当任せで取り組みに差がある。
- ▲活用する時間の確保が厳しい。

- ・学力の低い児童生徒にとって問題が難しいので、易しい問題も必要である。【小・中】
- ・授業の中で習熟の時間に活用できるように授業を組み立てることが必要である。【小・中】
- ・問題が難しくて使いづらく、低学年での活用が難しい。【小】
- ・児童生徒へ丁寧に説明する時間が見つけれない（やりっ放しになってしまう）。【小・中】
- ・年間に使用する副教材との関連で使用しにくい部分がある。【中】

### 克服するために…

- ◎活用に際して全教職員で活用時間・活用方法・活用内容を明文化しておく。
- ◎各学年で活用の進捗状況を確認するためにチェックシートを作成する。
- ◎難問であれば、問題の一部だけを活用する。

**組織的・計画的に徹底して活用する**